

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～



# 学校だより

令和6年4月8日  
横浜市立岩崎小学校

4月号



岩崎小学校  
WEB ページ

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/iwasaki>

TEL 331-5123 FAX 331-5343

## みんなで育てる

校長 島田恒弘

新年度を祝うように校庭の花が咲いています。本日新たに51名の新入学児童を迎え、全校児童344名、14学級で令和6年度がスタートしました。お子様のご入学・ご進級誠にありがとうございます。4月1日に着任しました島田恒弘と申します。3月までは旭区今宿小学校におりました。母校で校長をするという大変貴重な経験をさせていただきました。前任の小林校長からのバトンを受け、岩崎小学校がよりすてきな学校になるよう努めて参ります。どうぞよろしく申し上げます。

「ひとが好き まちが好き いわさきの子」、すてきな学校教育目標です。どういう意味なのか考えました。

「ひとが好き」というのは、自分と自分に関わるひとを好きになることです。大切にすることです。自分を好きになるには、様々なことに挑戦し、その過程で成長した自分に気づくことが大切です。それには、近くに居るひとが、挑戦したことを認め、その頑張った過程を褒めてあげる必要があります。結果だけに注目してはいけません。人生において小学生時代はまだ始まったばかりです。結果がだめだから認めてもらえないというのでは、これからの人生を生き抜くエネルギーになりません。努力した過程は、必ず力となっています。

「まちが好き」というのは、自分は一人ではないということに気づき、様々なひと、もの、こととの関わりの中で自分の役割は何だろうと考えられることだと思ひます。「まち」というのは、学年によってその範囲が広がります。1,2年生にとっては、クラスの外が「まち」です。3,4年生にとっては、岩崎小学校を囲む地域や保土ヶ谷区、横浜市、神奈川県が「まち」です。5,6年生にとっては、日本、世界という地理的な外と歴史などの時間的な外が「まち」と言えると思ひます。そういつたひと、もの、こととふれあつて「まち」のよさに気づき、立ち返つて、自分が住んでいるこの地域をよりよくしようと考えられるようになることが、「まちが好き」の表すことだと思ひます。

学校は学校教育を通して、家庭は家庭教育を通して、地域は社会教育を通して、相互に尊重し合い、理解し合つて子どもたちを育てていければと思ひます。

学校、家庭、地域みんなで、「ひとが好き まちが好き いわさきの子」を育てていきたいと思ひます。どうぞよろしく申し上げます。

